

本リリースは、2020年8月5日に発表されたものの日本語抄訳版です。

2020年8月5日

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ、米国子会社レイノルズ・アメリカンの新社長を発表

レイノルズ・アメリカンに関する以下の人事異動をお知らせします。

リカルド・オーバーランダー(Ricard Oberlander)は、2020年8月31日付で、レイノルズ・アメリカン(以下「レイノルズ社」)の社長、およびブリティッシュ・アメリカン・タバコ(以下「グループ」または「BAT」)経営委員会役員を退任し、を2020年12月31日付で退職します。同氏は、グループに在職した約30年の中で7年間、まずは、北・南米地域担当ディレクターとして、その後はレイノルズ・アメリカン社の社長として、経営委員会の役員を務めました。BAT退職後、オーバーランダーは、他のキャリアに進みます。

ガイ・メルドラム(Guy Meldrum)は、現在、アジア太平洋および中東リージョンの統括ディレクターを務めていますが、オーバーランダー退任後、2020年9月1日付で、レイノルズ社の社長に就任する予定です。

マイケル(ミホヴィル)・ダイジャノシク(Michael (Mihovil) Dijanosic)は、現在、アジア太平洋エリア担当ディレクターを務めていますが、メルドラムの後任として、アジア太平洋および中東リージョンの統括ディレクターに就任する予定です。

BAT最高経営責任者のジャック・ボールズは、今回の人事異動について、以下の通りコメントしています。

「リカルド・オーバーランダーが、リこれまでリーダーシップを発揮してグループを牽引するとともに、レイノルズ・アメリカン社の事業を現在の強靱な姿に育て上げてくれたことに大変感謝しています。また、過去7年間、経営委員会の役員として活躍するなど、彼の30年に及ぶ多大な貢献に対して、感謝の意を表するとともに、今後のさらなる成功をお祈りします。

ガイ・メルドラムは、オーストラレーシア、北アジアエリア、ロシアにおける数々の上級職として、そして直近ではアジア太平洋および中東リージョンの統括責任者を含め、BATで過去26年に亘って幅広い経験を積んでおり、その豊富な経験は、レイノルズ・アメリカン社のさらなる変革の推進に活かされるものと期待しています。

グループでの20年以上に亘る経験を経て、マイケル・ダイジャノシックを経営委員会に迎えることを喜ばしく思います。彼はアジア太平洋リージョンの様々な市場において数多くの要職を経験し、2012年からは同リージョン統括チームの一員として活躍してきました。同リージョンに関する深い知見を有するダイジャノシックは、ガイ・メルドラムの後任として最適だと考えます。」

問い合わせ先(英語):

British American Tobacco Press Office

+44 (0) 20 7845 2888 (24 hours) | @BATPress

British American Tobacco Investor Relations

Mike Nightingale / Victoria Buxton / William Houston / John Harney

+44 (0) 20 7845 1180 / 2012 / 1138 / 1263